



# さかわようちえんだより

～2学期号～

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子  
わ:わくわくしながらチャレンジする子



令和2年12月23日  
小田原市立酒匂幼稚園  
園長 向笠 弘子

黄色くなった銀杏に冬の日差しがあたり金色に輝いています。その下には、黄色い絨毯ができ、落ち葉と戯れる子どもたちの笑顔が輝いています。日頃より、園の教育へのご理解ご協力、感謝いたします。

暑い暑い8月に始まった第2学期でした。冬の寒さを感じながら終わりを迎えるこの時期になり、第2学期の長さをしみじみと感じています。コロナ禍の中で、遠足・運動会・生活発表会などの行事や、絵本の貸し出し・サッカー教室・そだてやさんの栽培活動などの経験をしながら、子どもたちが豊かな園生活を送ることができたのも、お力を貸してくださった保護者や地域の皆様のおかげです。ありがとうございました。

今年度の冬休みは、外出を控えて家庭で過ごすことが多くなることと思います。家族で大掃除や正月遊びをするなど年末年始ならではの家庭生活を味わいながら、家族のふれあいを大切に過ごしてください。そして、新しい生活様式で冬休みを過ごし、心も体もひとまわり大きくなった子どもたちに会えるのを楽しみにしています。良いお年をお迎えください。

## おおきくなあれ！（第2学期のさかわっこの育ち）

“そだてやさん”にレースのような白菜がありました。担任の話によると、アオムシがついているのを見つけた子どもたちの中から「取らないで！」「取ったら、かわいそう」と声が上がり、そのままにしておくことになったそうです。しばらくして様子を見た子どもたちは、「（白菜）食べられなくなっちゃう！」「アオムシ取らなくちゃ！」と、野菜を育てるためには、虫を葉から取り除くことも必要だということに気付いたということです。この話は、自然とのかかわりを通して虫や植物の命について考える貴重な体験です。子どもたちなりのものの見方・考え方を大切に、体験を通して気付くことで、心にしみる学びとなり、次の経験に活かすことができると思います。先走って知識を与えてしまうことのないように気をつけていきたいと感じた話でした。これからも、子どもたちの心が動く体験を大切にしていきたいと思います。第2学期、様々な経験をしてきた子どもたちの育ちを紹介します。

### 自然との関わり・生命尊重

は、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿です。子どもたちの遊びを中心とした幼児教育を通じて育っていき、更に小学校以降も育ち続けていきます。

#### 健康な心と体

沢山体を動かして遊ぶ中で、いろいろな動きや、心と動きをコントロールできるようになりました。



ハンターと逃走者に分かれて鬼ごっこ。相手の動きを見極めて素早く動いていました。

自分の体の使い方や友達と一緒に遊ぶための心のコントロールができるようになり、大きなものの片付けが自分たちでできるようになりました。



#### 自立心

自分の力でがんばってやってみることも諦めずにやり遂げたりする姿が見られました。



いざ使おうとすると倒れてしまう牢屋。しっかり立つように諦めずに最後まで取組んでいました。

大切なカメのために、自分たちで掃除をしています。子どもたちなりの責任感が芽生えています。



## 協同性

友達と一緒にやる楽しさを感じたり、共通の目的をもって友達と相談し工夫し協力したりしていました。



運動会のさくら組。みんなで『運動会パーティ』を楽しんでいました。



生活発表会では、友達と考えを合わせて、協力して一つのものを作り上げていました。

## 道徳性・規範意識の芽生え

友達と考えが違ったり、自分の思うようにならなかったりする経験を通して、相手のことを思いやったり、自分の中で折り合いをつけたりするようになってきました。



「お客さんから見えちゃうよ」「OOちゃん、ここに座るといいよ。」どうしたらよいか困っている友達のことを考えて教えてあげる姿が見られました。

『ボールに当たらないで最後まで残りたい』友達と楽しむためには、その思いに折り合いをつけてルールを守っていました。



## 思考力の芽生え

『もっとこうしたい!』『どうしてかな?』と、遊ぶ中で、予想したり工夫したりするようになってきました。



「ニジイロトカゲの家、何入れる?」「草かな?」大好きなニジイロトカゲを飼うために、捕まえた場所を思い出しながら飼育ケースの中に入れるものを相談していました。

「こうしたら転がるかな?」何度も試して考えを合わせてコロガスイッチを作っていました。



## 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

『友達に分かるように』『どのくらいある?』など、自分が必要と感じ数や文字を使っていました。



友達と力を合わせてサツマイモの収穫の後、同じくらいの大きさのものを集めて花のような形を作っていました。

「年賀状は、あけましておめでとうって書くんだよ」届くことを楽しみに丁寧に書いていました。



## 言葉による伝え合い

『伝えたい人がいて、伝えたいことがある』最初は少人数だった伝え合いも、人数が増え、初めて会った人とも伝え合えるようになってきています。



クラスで話し合いをして、みんなで考えを共有することができるようになってきました。その成果が生活発表会に表れていました。

初めて会った小学校の先生の話も友達と一緒に聞き、質問し答えてもらっていました。



## 豊かな感性と表現

『みんなでやると楽しい』から『そろそろ楽しい』と感じるようになったり、『きれい!』と感じたものを遊びに取り入れたりなど、心を動かしながらさらに考え表現する姿が見られました。



最初は自分だけで楽しんでいた楽器遊びも、友達と音がそろそろ楽しさを感じるようになりました。

イチョウの絨毯ができると、美しさに心が動き、葉の形から花を連想して花束を作っていました。



コロナ禍の中で活動が制限される中、地域の方や卒園生、そして保護者の皆様が『こうすればできる!』『これならばできる!』と考えて活動してくださいました。子どもたちの『これやりたいけど、どうしよう?』ということが解決し、『やってみよう!』『もっとやりたい!』という気持ちが引き出されました。ご協力いただいた活動がもととなり、園生活がより豊かになりました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

冬瓜もらったよ!

畑の先生鈴木英雄さんから、冬瓜をいただきました。冬瓜の大きさに驚き、「恐竜のたまごみたい!」「割ってみよう!」と子どもたち。切ってみるとメロンのような匂が!その後、メロンと比べて、匂い・種の様子など、いろいろなことに気付いていました。



「中はどんな?」  
「メロンの匂いがする!」

「種似てるね」  
「メロンの種の方が小さい」



年賀状を作ろう

年賀状をすることになった年長組。「年賀状、郵便局にある!」と買いに行くことになりました。「年賀状はいくらかな?」の教師の問いかけに「調べてくる!」と家の人に聞いてきた情報をもとに63円を持って郵便局へ行きました。その後、年賀状が届くことを楽しみに、作成・投函をしました。



「年賀状をください」  
「63円です」

「おばあちゃんに出すんだ」  
「どんな牛にしようかな?」



演奏会

ユースウインドアンサンブル演奏会が北園庭で開催されました。その前から手作り楽器を作り、「音聞こえる?」「演奏会をしよう!」と自分たちでも事前演奏会をして、期待を膨らませていた子どもたち。素敵な演奏会が終わった後も新たな楽器を作ったり演奏会をしたりしていました。



楽しい曲を沢山演奏して  
くださいました

「みんなで演奏会をしよう!」  
「みんな揃えて」



ご協力いただいた皆様ありがとうございました

引き続き衛生用品や英語で遊ぼうなど、この紙面には掲載しきれないくらいご協力をいただきました。



サッカー教室



菊の花を届けてくださった方



サトイモの収穫



12月に入って、毎日プレゼント  
を届けてくださった方

## 幼稚園の新しい仲間

友達と楽しそうに座り、走りつかれると座り、思うようにならないと座り etc.子どもたちをそっと優しく癒してくれていたダックスフンドが青虫君になりました。早速、子どもたちは撫でたり、座ったりして癒されています。場所もイチョウの木の下になり、公園のような空間で子どもたちの憩いの場になっています。



## おだわらっ子の約束

第2学期、年少のさくら組もクラスで話し合っておだわらっ子の約束を決め始めました。その時のクラスの様子や1か月の振り返りをしながら、10ある約束の中から子どもたちが決めた約束です。冬休みは、各家庭で話し合って約束を決めて取り組んでみてください。大人が意識して守る姿を見せることで、子どもたちも進んで守るようになると思います。



### 1月のさくら組の約束

き やくそく まも  
決まり約束を守ります

### 1月のほし組の約束

やさ ころこ なかよ  
優しい心でみんなと仲良くします

### 1月のうみ組の約束

ひと はなし き  
人の話をきちんと聞きます

## 冬休みに向けて

今年度はコロナウイルス感染症に気を付けながらの特別な冬休みになります。低温乾燥の時期は感染症が流行しやすい時期です。感染防止対策をして、元気に冬休みを過ごすことができるようにしましょう。

- 1 規則正しい生活をしましょう
- 2 毎朝、健康観察をしましょう
- 3 石鹸と流水を使ってこまめに手を洗い、うがいをしましょう
- 4 空気の入替えをしましょう
- 5 マスクをつけましょう

## 保護者の皆様へ

年の瀬はあわただしく、年の初めは1年の中で一番くつろぐ時ではないでしょうか。忙しいときは、お子さんにも役割を担ってもらって家族で力を合わせて物事を進めてみてください。そして、くつろぐときは思い切りスキンシップを図ってください。(スキンシップは、脳の健全な発達に必要不可欠です。) 特別な事情でいつもと違う冬休みですが、健康で心穏やかな冬休みをお過ごしください。



## 地域の皆様へ

第2学期も、皆様のご理解とご協力により、終業式を迎えることができました。第1学期に引き続き、アルコールやマスクなどの衛生用品を届けてくださり、また、子どもたちのためにと心が癒される花や普段目にするのでできないものを届けてくださり、子どもたちも職員も安心して園生活を送ることができました。感謝いたします。コロナ禍ではありますが、皆様が幸せな気持ちで新しい年を迎えられますことをお祈り申し上げます。